

島谷ひろのり

しまや 議会レポート



プロフィール

- 出身: 青森県八戸市
- 生年月日: 昭和55年2月13日
- 学歴: 八戸工業高等専門学校 (電気工学科) 卒業
- 家族: 妻と長女・次女の4人家族
- 現住所: 日野市旭が丘2丁目
- 趣味: バレーボール、ランニング、山登り

みんなの想いを力に変えて確かな未来を創る!!

令和4年第4回日野市議会定例会が11月29日から12月15日まで開催され、市長より提出された議案、また、新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰に対応する支援策(令和4年度日野市一般会計補正予算(第9, 10, 11号))など、活発な議論が交わされました。

上程された議案については賛成多数で可決しております。

本定例会での審議事項や、一般質問で『島谷ひろのり』がピックアップした内容、トピックスも含め、以下、主な内容をご報告させていただきます。

■ 令和4年第4回定例会 議案等審議結果についての詳細は日野市議会HPへ
<https://www.city.hino.lg.jp/shigikai/gian/1022613.html> 日野市HP ページID 1022613



I. 日野市男女平等基本条例の一部を改正する条例の制定について

日野市では、令和2年6月にパートナーシップ制度導入に関する請願が市議会にて採択され、令和3年4月に策定した「第4次日野市男女平等行動計画」により「多様な性・多様な生き方を尊重しあえるまち＝日野」を掲げ、取組みの一つとして、パートナーシップ制度を開始することとしました。

性別等(男女の別だけではない多様な性の在り方)によらず、人生を共に歩むパートナーとしての2人の関係を大切に、本制度を導入することで、多様な性の当事者の日常生活での困りごとを解消し、地域の理解を進め、多様な性・多様な生き方を尊重しあえるまちを目指します。



◆ パートナーシップ制度の導入に伴い、対応が望まれる行政サービスについて

- (1) 市営住宅(家族世帯)の申込み
- (2) 市職員の福利厚生(結婚休暇・介護休暇・育児参加休暇・介護休暇・忌引等)の適用
- (3) 病院での対応(治療計画や病状等の説明、手術の同意などの対応)
- (4) その他

■ 日野市パートナーシップ制度検討過程についての詳細は日野市HPへ
<https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/danjo/danjo/1022607/1022612/index.html> 日野市HP ページID 1022612



II. 日野市子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和5年4月より、高校生等医療証(マル青)制度が開始いたします。それにむけて、令和4年12月20日付で対象となる年齢の方に案内の通知を発送がされております。現在中学3年生で令和4年10月1日からの医療証(マル子)をお持ちの方は、申請不要です。

高校生等医療証(マル青)制度は医療証(マル子)と同様の所得制限があり、調剤・入院を除く通院時に200円を上限とする自己負担があります。



子ども達の生活環境における医療に関する不安を解消できることから、島谷ひろのりも「賛成」としましたが、もろ手を挙げて賛成という訳ではございません。所得制限の撤廃について、引き続きの議論が必要との考えです。

他にも、親元を離れ生活している高校生や、自らの判断で自立するケース、保護者の収入が多くてもサポートが必要な環境に追い込まれてしまうケース。自立支援ホームの支援により社会的な自立を目指すケースなどなど、状況に応じたきめ細かい対応が求められます。日野市の今後の丁寧な対応について意見要望しました。



Ⅲ. 島谷ひろのり一般質問（概要）

〔1〕 財政健全化に向けた、日野市の本気度を問う



日野市は2020年(令和2年)2月「財政非常事態宣言」を発出し、現在に至ります。しかしながら、財政非常事態に至った「何故??」の部分が多くの市民からご納得をいただくことは無いにしろ、共有が図られたといえる状況か?どうかには、まだまだ疑問が残ります。

「何故、日野市が・・・」という部分に多少なりとも信頼感が抱けなければ、この状態を脱却に至るまでの「市の本気度」が伝わってこない。ダラダラと中途半端に、これまで通りの行財政改革を継続し、市にとって都合の悪い時だけ「財政が厳しいので・・・」というような、言い訳に使ってしまったら、本末転倒であります。

●島谷ひろのり議員⇒ 日野市から財政非常事態宣言発出した背景、市の考えを改めて伺いたい。

◆日野市 平成30年度決算では、経常収支比率が市として初めて100%に達し、令和元年6月に公表した「日野市の当初予算概要及び今後の財政収支見通し」においては、令和2年度から令和4年度までの3年間で合計約100億円の財源不足が発生することが明らかになった。将来的に、生産年齢人口の減少に伴う歳入減、2025年問題をはじめとする高齢化の進行による歳出増が続くとともに、公共施設等の老朽化への対応の必要性もさらに増していく。

いわゆる「直ぐに財政破綻」になるような状況ではないが、真に必要な行政サービスの提供が困難になりかねないという市の財政の危機的な状況を伝えるとともに、市民の皆様と力をあわせてこの状況を乗り越えていくため、財政非常事態宣言を発出した。

●島谷ひろのり議員⇒ 次に、日野市から令和4年8月に提示されている『財政再建計画(兼)第6次行財政改革大綱実施計画(案)』の項目について。これまでの行財政改革と何ら変わらない、かつ市民サービスの縮小や廃止する方向性だけが列挙される内容では「真の財政再建計画」と呼べるのか?この素案の見えない部分「日野市側の工夫や努力により生み出される改善や効果、ねらい」について、市の見解を伺う。

◆日野市 4つの柱「行政サービスのアップデート」「公共私ベストミックス」「収支バランスの改善」「経営基盤の最適化」がねらいであり、**市民サービスの廃止に特化したものではない**。例えば「公共私ベストミックス」は、市民サービスを縮小することなく、現在のサービス提供主体を見直すことによる支出の削減、更には市民サービスの向上を狙ったものである。各取組については、現段階でまだ調整を終了しておらず、十分に内容を記載できていないものもあり、今後、各取組について調整を進め記載内容に反映していく。



●島谷ひろのり議員⇒ 財政非常事態宣言発出による市民の混乱を受け、日野市として財政指標のチェックと、フォローが機能していなかった。機能していれば「財政非常事態宣言の発出」も避けられたのではないか?との反省がとても重要である。

財政非常事態宣言発出の基準や、計画予算上の財政指標を**単年度重視ではなく複数年計画**として明確に提示し運営を遂行する「財政健全化に関する条例化」制定も見据え提案するが、日野市の見解は?

◆日野市 財政再建計画にて設定した指標が令和9年度終了後に達成されるよう、令和5年度から進行管理していく段階にある。よって、令和10年度以降の仕組みとして検討する課題と認識している。将来的な財政の見通しをもって「警戒事態」を宣言することについては、議論を深める部分も多いが、中期的な財政の見通しを明らかにする必要性は、市民の皆様にご理解いただくうえでも重要と考えている。中期財政計画については、今後第6次計画を進行管理していくうえでも、直近で取り組むべき課題と考えており、作成、公表を前向きに検討したい。



■ 一般質問の録画中継は日野市役所 HP で視聴できます。
<http://www.hino-city.stream.jfit.co.jp/>



市政や生活に対するお問合せはお気軽にご連絡ください。

島谷ひろのり相談室

TEL:042-581-8509 FAX:042-585-6005

E-mail:shimaya-kouenkai@fujielectric.com

HPとフェイスブックより活動内容をご覧ください。

島谷ひろのり
HP



お友達登録をお願いします!



豊田駅近く、富士電機東京工場東門より徒歩1分です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

編集・発行：島谷ひろのり後援会

住所：東京都日野市富士町1番地 TEL:042-582-3005 FAX:042-581-0133